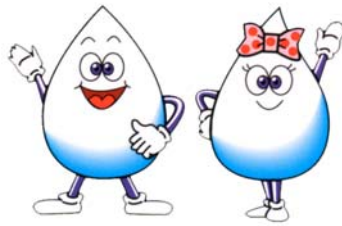


平成26年度決算の概要



平成27年12月
阪神水道企業団

目 次

- I. 概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- II. 業務の実績・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- III. 収支の状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- IV. 対財政計画・予算比較・・・・・・・・ 12
- V. 対前年度決算比較・・・・・・・・・・ 14
- VI. <参考>会計制度見直しに伴う影響・・ 16

I. 概況

◆総括

- 「安全な水の安定供給の持続」という基本理念のもと、効率的な事業運営を行うとともに、施設の適切な維持管理に基づき経年劣化した管路や施設、設備機器の更新、改修及び取替を実施し、安全で良質な水の安定供給に努めました。
- 財政面においては、多額の累積欠損金を有する状況が続いており、保有地の活用による収益確保や支払利息等の経費削減策を継続的に実施する中、経営は改善しつつありますが、平成26年度決算は、地方公営企業会計制度の見直しが行われ、新会計基準を適用した結果、純損失を計上することとなりました。

◆水源・水質、給水実績

- 琵琶湖流域の降雨量は、1,792mmで平年比105%となり、琵琶湖水位の平均値は-8cm（最高値33cm、最低値-41cm）で平年値（-17cm）に比べ高い傾向となりました。
- 水質状況については、7月に琵琶湖においてかび臭原因物質（ジェオスミン）が24ng/L検出されましたが、浄水への影響はありませんでした。また、9月には、浄水場の原水において油臭が確認される水源事故が発生しましたが、浄水への影響はありませんでした。
- 年間実績給水量は272,990,250 m³となり、1日最大給水量は831,630 m³、最大稼働率は73.7%となりました。

◆収支の状況

- 収益的収支は933,354千円の純損失を計上しました。前年度に比べて、長期前受金戻入の計上や特別利益の増等により収入は2,469,578千円増加し、減価償却費や特別損失の増等により支出は3,697,416千円増加しました。
- 累積欠損金は、新会計制度への移行処理に伴い発生したその他未処分利益剰余金変動額2,206,042千円で補てんした結果、当年度末で17,955,380千円となりました。
- 資本的収支不足額は、7,436,104千円となり、前年度に比べて648,369千円増加しました。企業債等の収入が1,362,981千円増加したのに対して、水道改良費、企業債償還金等の支出は2,011,350千円増加しました。
- 資本的収支不足額については損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度では1,451,009千円の資金増となり、当年度末の資金残額は8,964,081千円となりました。

Ⅱ. 業務の実績

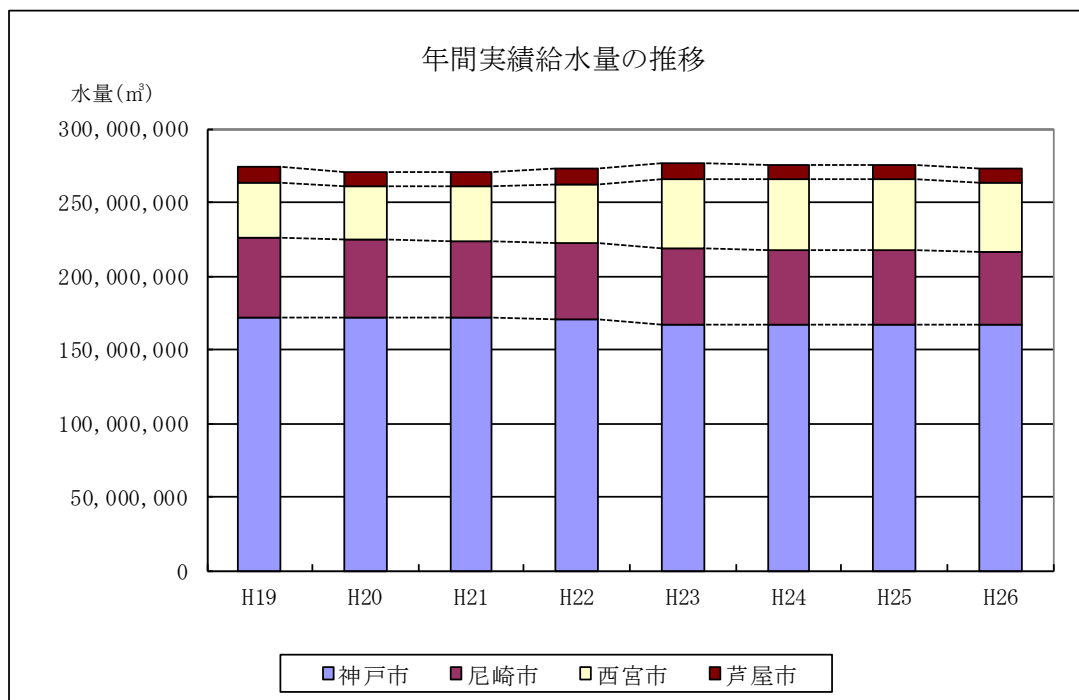
◆計画給水量と実績給水量

- 実績給水量は 272,990,250 m³ で、前年度と比べて 1,750,980 m³ 減少しました。
- 計画給水量（分賦基本水量）288,204,730 m³ に対する実績率は 94.7% で、前年度に比べて 0.6 ポイント減少しました。

○ 年間実績給水量の推移

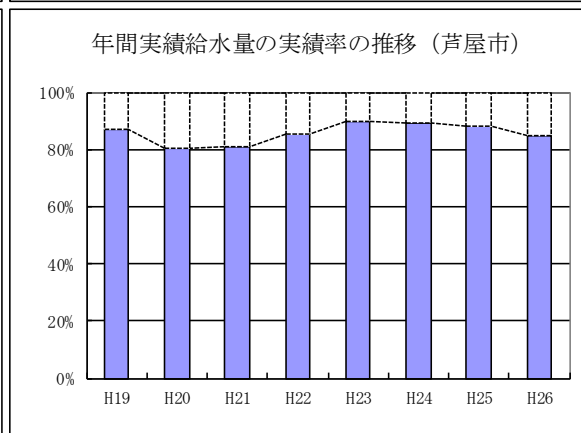
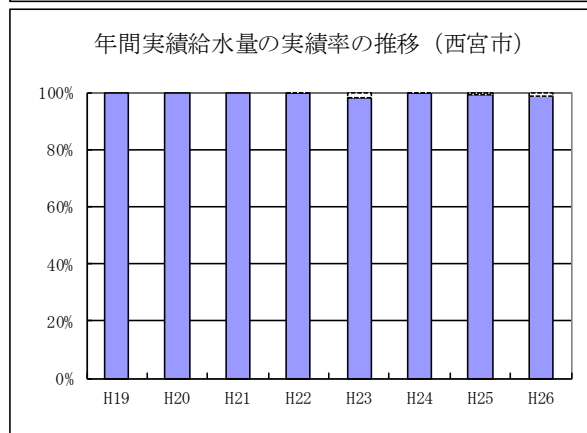
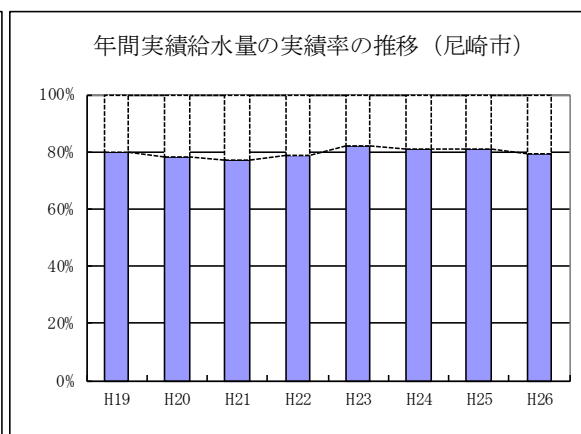
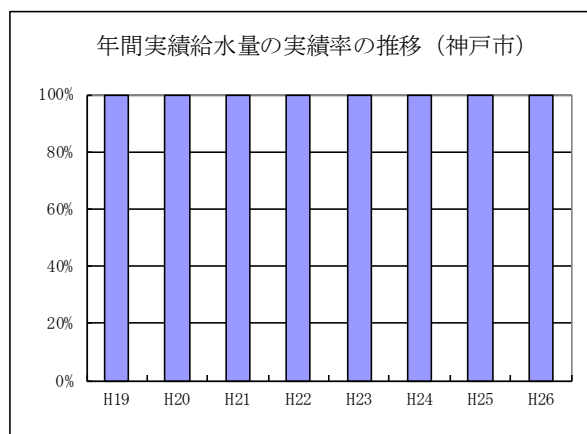
(単位 m³)

		神戸市	尼崎市	西宮市	芦屋市	計
H26分賦基本水量		166,938,955	62,246,005	48,162,845	10,856,925	288,204,730
年間実績給水量	H19	172,264,080	54,228,000	36,446,300	10,674,180	273,612,560
	H20	171,793,390	52,965,000	36,348,110	9,811,450	270,917,950
	H21	171,793,380	52,252,600	36,353,170	9,878,820	270,277,970
	H22	170,260,370	52,020,800	40,128,050	10,041,700	272,450,920
	H23	167,396,260	51,215,700	47,491,790	9,803,090	275,906,840
	H24	166,938,900	50,242,800	48,074,310	9,688,010	274,944,020
	H25	166,938,910	50,373,900	47,877,420	9,551,000	274,741,230
	H26	166,938,870	49,353,200	47,478,870	9,219,310	272,990,250



○ 年間実績給水量の実績率（対計画給水量）の推移

	神戸市	尼崎市	西宮市	芦屋市	全体
H19	100.0%	79.7%	100.0%	87.0%	94.7%
H20	100.0%	78.1%	100.0%	80.2%	94.0%
H21	100.0%	77.0%	100.0%	80.7%	93.8%
H22	100.0%	78.8%	99.9%	85.3%	94.5%
H23	100.0%	82.1%	98.3%	90.0%	95.5%
H24	100.0%	80.7%	99.8%	89.2%	95.4%
H25	100.0%	80.9%	99.4%	88.0%	95.3%
H26	100.0%	79.3%	98.6%	84.9%	94.7%

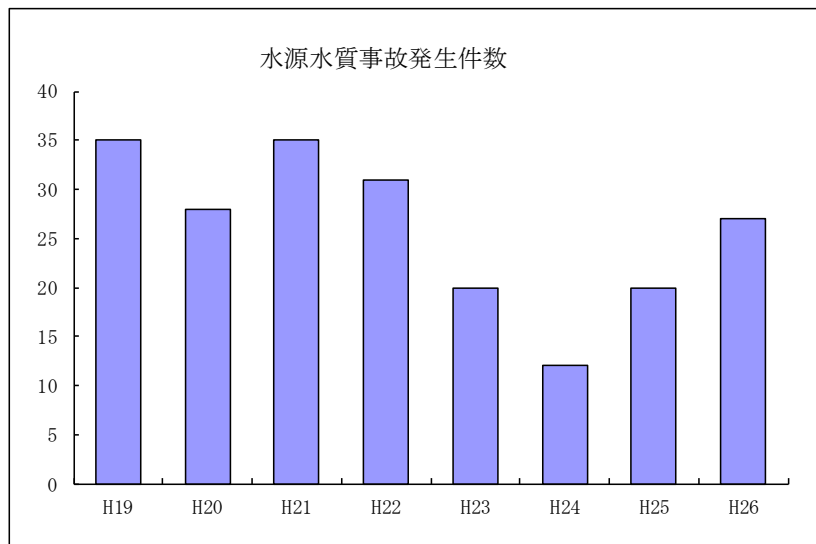


◆水源水質の状況（事故の発生状況）

- 淀川水質協議会を通じて把握した淀川水系における水源水質事故の発生件数は27件で、その約63%が油の流下によるものでした。そのうち1件では、浄水場にまで油臭の影響が及びましたが、粉末活性炭の投入や適切なオゾン、粒状活性炭処理の運用等によって対応し、浄水への影響はありませんでした。

○淀川水系における水源水質事故発生件数の推移

年度	発生件数
H19	35
H20	28
H21	35
H22	31
H23	20
H24	12
H25	20
H26	27



Ⅲ. 収支の状況

◆収益的収入の状況

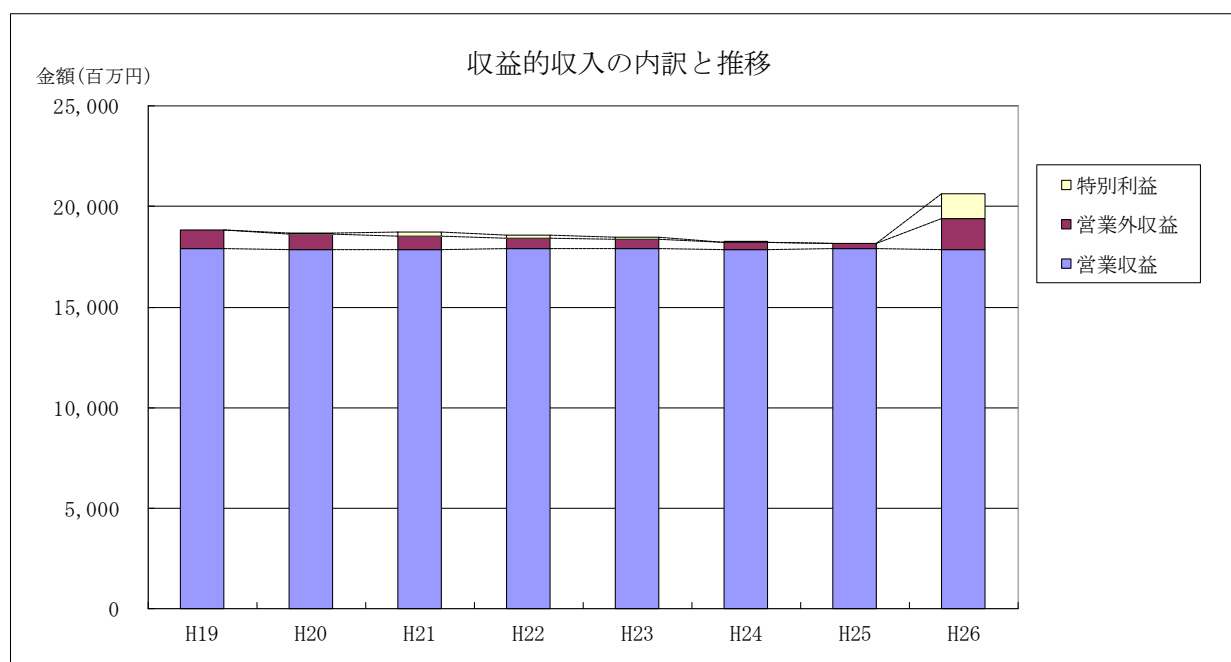
- 収益的収入は20,631,793千円で、前年度に比べて2,469,578千円増加しました。
- 営業外収益は、支払利息等に対する補助金が減少したものの、みなし償却制度の廃止に伴う長期前受金戻入を計上したことにより、前年度に比べて1,245,062千円増加しました。
- 特別利益は、修繕引当金戻入益等を計上したことにより、1,245,646千円増加しました。

[財政計画比+2,509,530千円、予算比△90,694千円（収益的収入税抜額）]

○収益的収入の内訳と推移（税抜）

(単位 千円)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1. 水道事業収益	18,848,450	18,664,076	18,723,275	18,582,025	18,467,918	18,214,348	18,162,215	20,631,793
1. 営業収益	17,909,107	17,861,819	17,864,552	17,888,203	17,924,053	17,866,201	17,887,927	17,866,797
1. 分賦金	17,906,089	17,857,165	17,857,165	17,857,165	17,906,089	17,857,165	17,857,165	17,857,165
2. 受託工事収益	0	1,635	4,520	27,323	9,185	0	21,743	0
3. その他の営業収益	3,018	3,019	2,867	3,715	8,779	9,036	9,019	9,632
2. 営業外収益	939,343	794,041	656,070	558,780	457,180	348,102	274,288	1,519,350
1. 受取利息	53,918	37,611	9,949	4,429	3,404	6,060	4,894	7,206
2. 補助金	759,751	604,628	489,809	395,822	298,276	193,822	120,862	97,382
3. 長期前受金戻入	0	0	0	0	0	0	0	1,266,935
4. 雑収益	125,674	151,802	156,312	158,529	155,500	148,220	148,532	147,827
3. 特別利益	0	8,216	202,653	135,042	86,685	45	0	1,245,646



◆収益的支出の状況

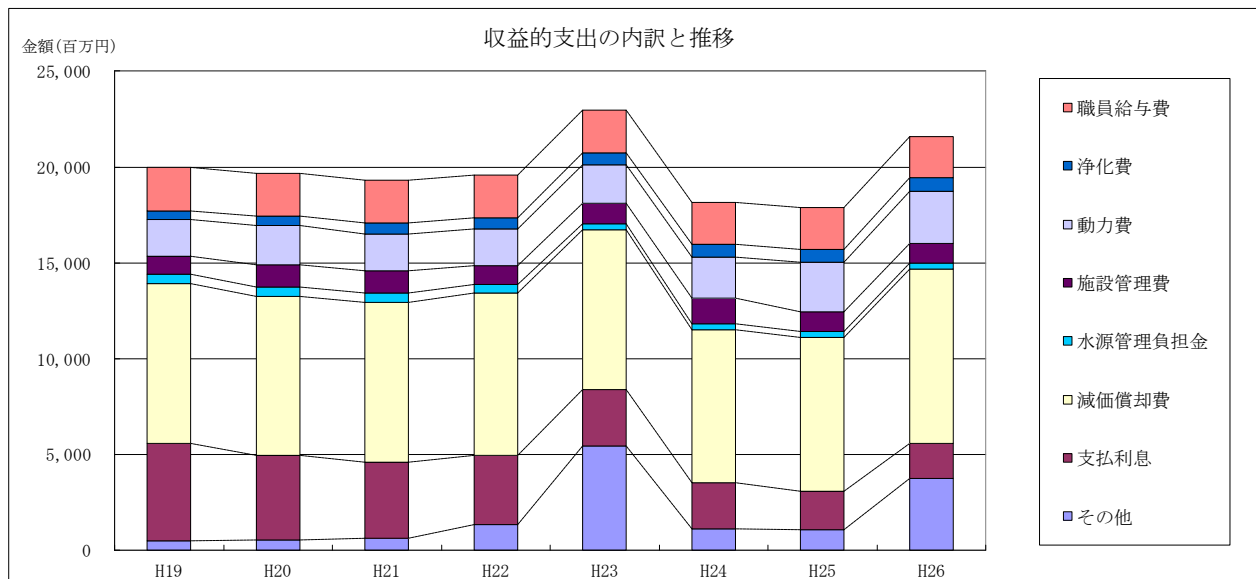
- 収益的支出は21,565,147千円で、前年度に比べて3,697,416千円増加しました。
- 営業費用は、職員給与費、施設管理費等が減少したものの、動力費、減価償却費等の増加により、前年度に比べて1,237,294千円増加しました。
- 特別損失は、引当金計上義務化に伴う退職給付引当金繰入額の計上等により、前年度と比べて2,648,486千円増加しました。

[財政計画比+4,037,828千円、予算比△461,242千円 (収益的支出税抜額)]

○収益的支出の内訳と推移 (税抜)

(単位 千円)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1. 水道事業費用	19,984,020	19,669,941	19,291,612	19,557,403	22,970,748	18,160,993	17,867,731	21,565,147
1. 営業費用	14,877,516	15,240,134	15,323,984	15,332,756	15,241,573	15,735,082	15,589,468	16,826,762
1. 職員給与費	2,286,073	2,210,372	2,200,643	2,205,398	2,219,575	2,191,860	2,164,227	2,111,953
2. 浄化費	450,036	533,131	589,920	597,727	640,804	681,897	681,620	730,153
3. 動力費	1,916,042	2,045,669	1,934,356	1,924,372	2,021,068	2,135,120	2,563,611	2,721,953
4. 施設管理費	946,667	1,129,926	1,149,204	981,303	1,044,630	1,317,134	1,055,835	1,003,017
5. 委託費	176,505	212,314	211,931	289,293	278,989	0	0	0
6. 受託工事費	0	1,635	4,520	27,323	9,185	0	21,743	0
7. 物件費	88,793	87,276	87,760	87,341	89,131	250,962	84,864	84,199
8. 諸費	186,725	187,491	175,210	208,286	197,737	700,510	666,625	671,214
9. 水源管理負担金	491,096	495,092	476,735	412,512	322,462	311,085	320,766	332,648
10. 減価償却費	8,303,102	8,289,313	8,344,558	8,496,105	8,347,568	8,013,261	7,986,523	9,102,705
11. 資産減耗費	32,477	47,915	149,147	103,096	70,422	133,253	43,654	68,920
2. 営業外費用	5,104,994	4,429,807	3,967,628	3,617,656	2,950,558	2,425,911	2,031,614	1,843,250
1. 企業債利息	3,673,556	3,196,642	2,970,405	2,844,527	2,337,195	2,008,379	1,726,849	1,600,302
2. 割賦負担金利息	1,430,909	1,230,098	995,953	770,131	611,806	414,171	290,486	236,945
3. 雑支出	529	3,067	1,270	2,998	1,557	3,361	14,279	6,003
3. 特別損失	1,510	0	0	606,991	4,778,617	0	246,649	2,895,135



◆給水原価の状況

- 給水原価は60.38円/m³で、前年度に比べて0.69円/m³減少しました。動力費等が増加したものの、減価償却費、支払利息等が減少しました。
- 企業債や害賦負担金の繰上償還の効果等により、支払利息は年々減少しています。

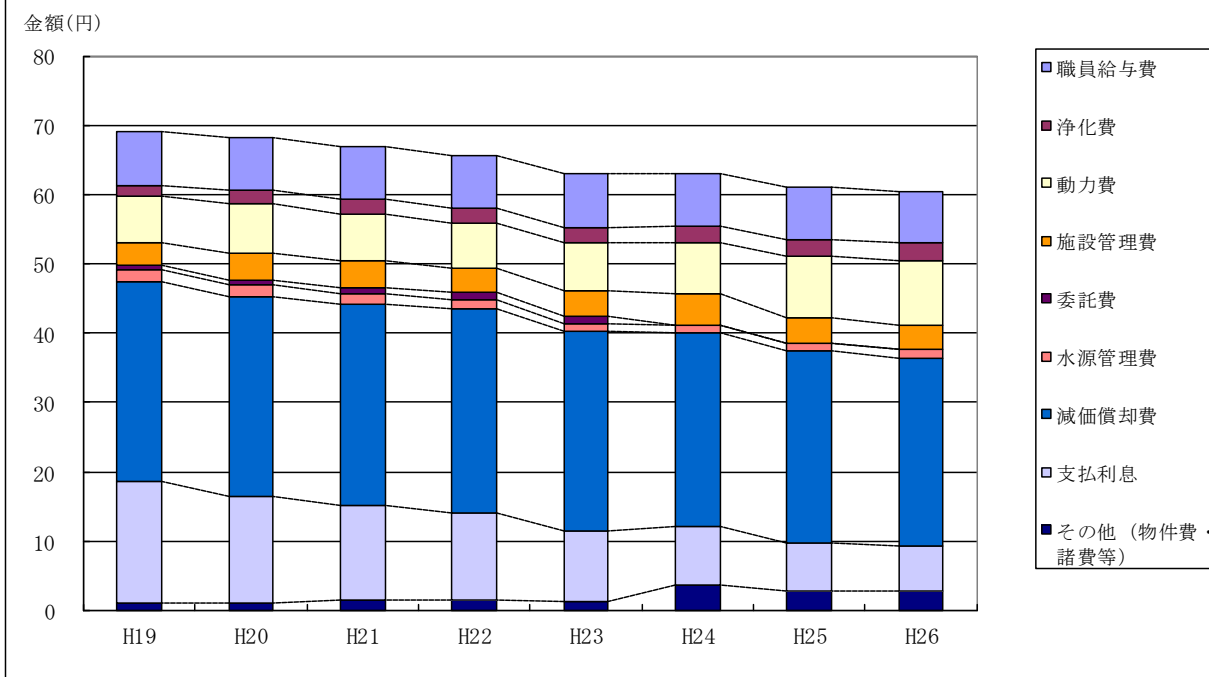
※給水原価(円/m³) = (営業費用+営業外費用-受託工事費-不用品売却原価) / 分賦基本水量
 ※平成26年度における減価償却費は、長期前受金戻入見合いの減価償却費を除く。

○給水原価の構成と推移

(単位 円/m³)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
職員給与費	7.91	7.67	7.64	7.63	7.68	7.61	7.51	7.33
浄化費	1.56	1.85	2.05	2.07	2.22	2.37	2.37	2.53
動力費	6.63	7.10	6.71	6.66	6.99	7.41	8.90	9.44
施設管理費	3.28	3.92	3.99	3.40	3.61	4.57	3.66	3.48
委託費	0.61	0.74	0.74	1.00	0.97	—	—	—
水源管理費	1.70	1.72	1.65	1.43	1.12	1.08	1.11	1.15
減価償却費	28.73	28.76	28.95	29.40	28.88	27.80	27.71	27.19
支払利息	17.66	15.36	13.76	12.51	10.20	8.41	7.00	6.37
その他(物件費・諸費等)	1.06	1.12	1.43	1.56	1.25	3.76	2.81	2.89
給水原価	69.14	68.24	66.92	65.66	62.92	63.01	61.07	60.38

給水原価の推移



◆純損益と累積損益の状況

- 第5期拡張事業で整備した施設の稼働に伴う減価償却費や支払利息の増加等により、これまで多額の累積欠損金を有する状況が続いています。
- 当年度決算は933,354千円の純損失となりましたが、新会計制度への移行処理に伴い発生したその他未処分利益剰余金変動額2,206,042千円で補てんした結果、当年度末における累積欠損金は、17,955,380千円に減少しました。

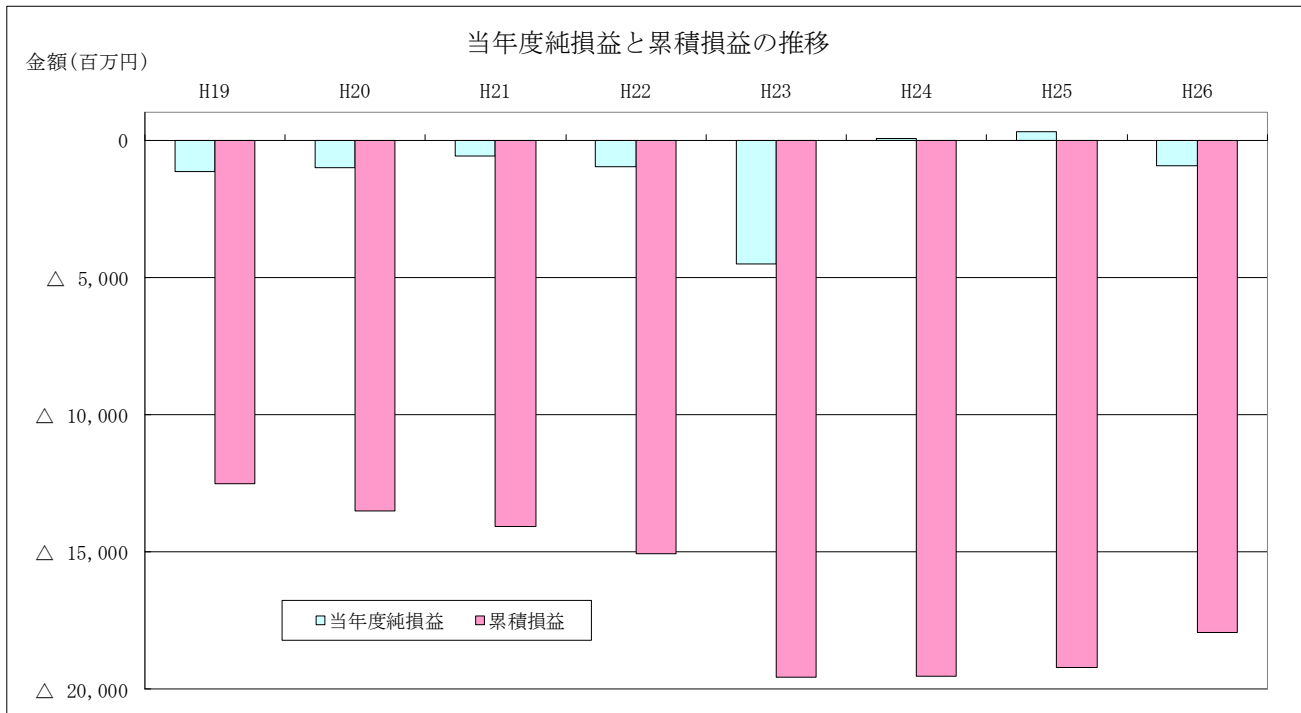
[財政計画比△1,528,298千円、予算比+370,548千円（当年度純損益）]

○当年度純損益と累積損益の推移

(単位 千円)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
当年度純損益	△ 1,135,570	△ 1,005,865	△ 568,337	△ 975,378	△ 4,502,830	53,355	294,484	△ 933,354
累積損益	△ 12,523,497	△ 13,529,362	△ 14,097,699	△ 15,073,077	△ 19,575,907	△ 19,522,552	△ 19,228,068 [※]	△ 17,955,380

※その他未処分利益剰余金変動額2,206,042千円による補てん後の金額



◆資本的収支と資金収支の状況

- 資本的収入は4,099,361千円で、企業債の増等により、前年度に比べて1,362,981千円増加しました。
- 資本的支出は11,535,465千円で、水道改良費の増や水利負担金の減等により、前年度に比べて2,011,350千円増加しました。
- 資本的収支不足額は7,436,104千円となりましたが、これを損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度では1,451,009千円の資金増となり、当年度末の資金残額は8,964,081千円となりました。

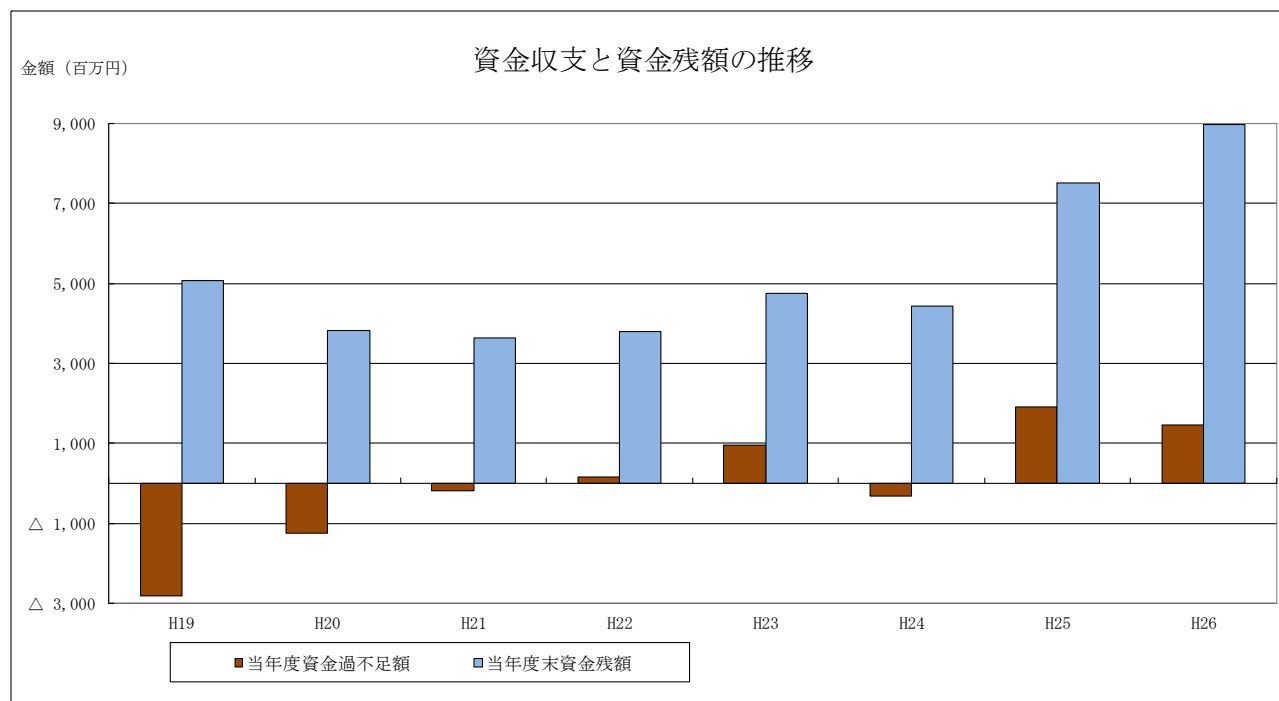
[財政計画比+5,874,201千円、予算比+2,323,313千円（当年度末資金残額）]

○資金収支と資金残額の推移

(単位 千円)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
前年度末資金残額	7,889,308	5,071,281	3,812,279	3,636,193	3,802,300	4,762,020	※ 5,606,917	7,513,072
当年度資金過不足額	△ 2,818,027	△ 1,259,002	△ 176,086	166,107	959,720	△ 331,890	1,906,155	1,451,009
当年度末資金残額	5,071,281	3,812,279	3,636,193	3,802,300	4,762,020	4,430,130	7,513,072	8,964,081

※引当金1,176,787千円を含む。



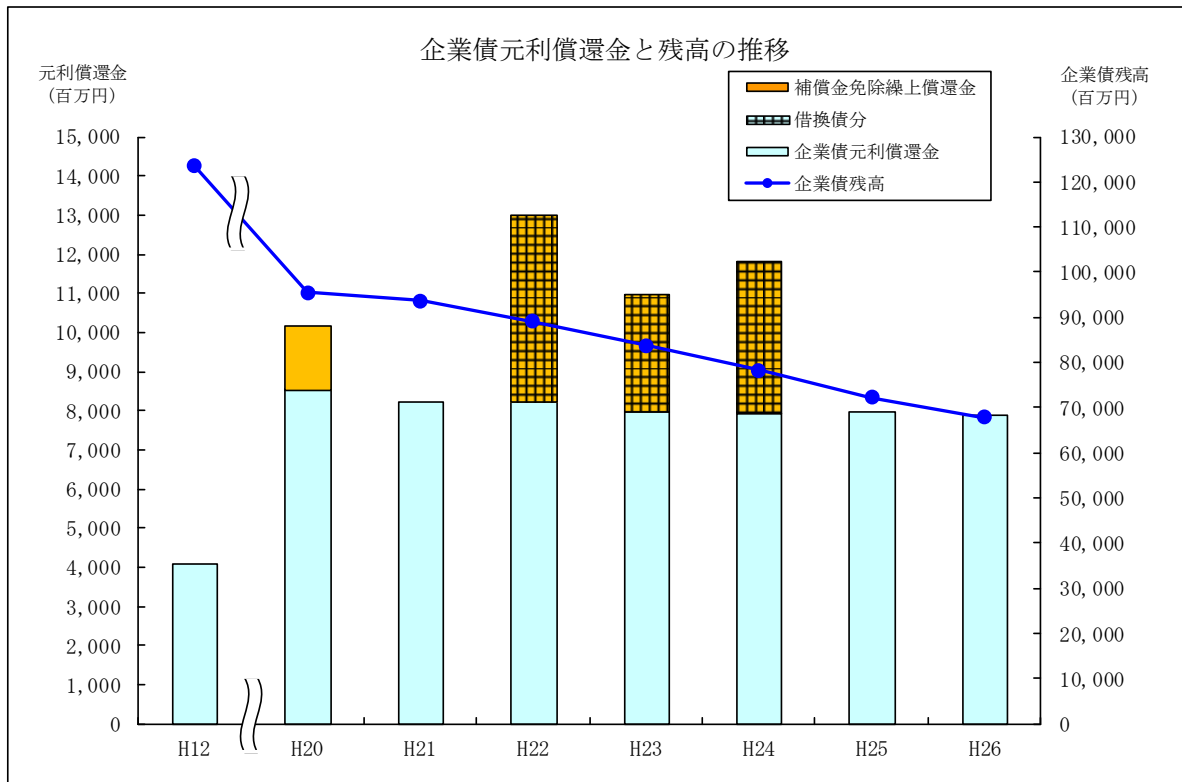
◆企業債の状況（償還額・残高の推移）

- 企業債元利償還金は7,868,675千円で、前年度に比べて81,319千円減少しました。
- 当年度末の企業債残高は67,772,334千円で、前年度に比べて4,541,373千円減少し、ピーク時（平成12年度）の約55%の水準まで低下しました。

○企業債元利償還金と残高の推移

（単位 百万円）

	H12	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
企業債元利償還金	4,085	10,177	8,212	13,034	11,001	11,849	7,950	7,869
年度末残高	123,535	95,529	93,708	89,045	83,755	78,344	72,314	67,772
企業債残高／給水収益（％）	775.5	535.0	524.8	498.7	467.7	438.7	405.0	379.5



（注）元利償還金には、公的資金補償金免除繰上償還（H19：2,545百万円、H20：1,622百万円、H22：4,812百万円、H23：3,022百万円、H24：3,920百万円）を含む。
 なお、財源として借換債（H22：4,804百万円、H23：3,018百万円、H24：3,913百万円）を発行した。

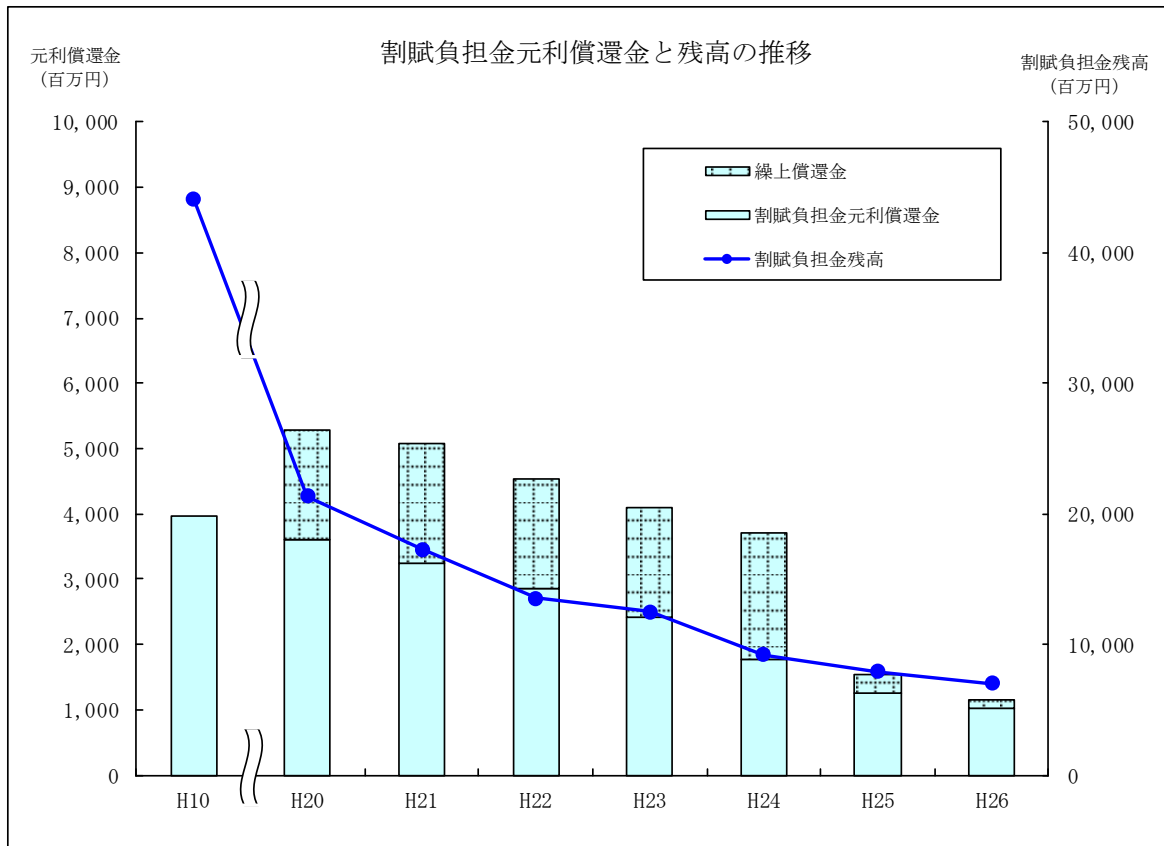
◆割賦負担金の状況（償還額・残高の推移）

- 割賦負担元利償還金は1,148,932千円で、前年度に比べて389,544千円減少しました。
- 琵琶湖開発事業割賦負担金の繰上償還を行い将来の支払利息の削減を図りました。
- 当年度末の割賦負担金残高は7,031,085千円で、前年度に比べて911,987千円減少し、ピーク時（平成10年度）の16%の水準まで低下しました。

○割賦負担金元利償還金と残高の推移

（単位 百万円）

	H10	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
割賦負担金元利償還金	3,964	5,291	5,072	4,536	4,107	3,704	1,538	1,149
琵琶湖開発事業	3,324	4,611	4,391	3,854	3,373	2,932	766	375
日吉ダム建設事業	640	680	681	682	682	719	719	721
丹生ダム建設事業					52	53	53	53
年度末残高（税込み）	44,082	21,368	17,292	13,526	12,481	9,191	7,943	7,031
琵琶湖開発事業	34,400	13,901	10,242	6,911	3,869	1,085	364	0
日吉ダム建設事業	9,682	7,467	7,050	6,615	6,162	5,656	5,129	4,581
丹生ダム建設事業					2,450	2,450	2,450	2,450



（注）割賦負担金元利償還金には、琵琶湖開発事業割賦負担金繰上償還金（H19：618百万円、H20：1,684百万円、H21：1,813百万円、H22：1,684百万円、H23：1,684百万円、H24：1,932百万円、H25：286百万円、H26：126百万円）を含む。

IV. 対財政計画・予算比較

収益的収入及び支出（税抜き）

（単位 千円）

収支区分	年度	H26				
		財政計画 (科目適正化後) ①	予算額 (前年度繰越+補 正・流用含む) ②	決算額 ③	決算-財計 ③-①	決算-予算 ③-②
1. 水道事業収益		18,122,263	20,722,487	20,631,793	2,509,530	△ 90,694
1. 営業収益		17,865,793	17,866,859	17,866,797	1,004	△ 62
1. 分賦金		17,857,163	17,857,163	17,857,165	2	2
2. 受託工事収益		0	0	0	0	0
3. その他の営業収益		8,630	9,696	9,632	1,002	△ 64
2. 営業外収益		256,469	1,628,360	1,519,350	1,262,881	△ 109,010
1. 受取利息		3,704	7,407	7,206	3,502	△ 201
2. 補助金		96,290	98,212	97,382	1,092	△ 830
3. 長期前受金戻入		0	1,378,751	1,266,935	1,266,935	△ 111,816
4. 雑収益		156,475	143,990	147,827	△ 8,648	3,837
3. 特別利益		1	1,227,268	1,245,646	1,245,645	18,378
1. 水道事業費用		17,527,319	22,026,389	21,565,147	4,037,828	△ 461,242
1. 営業費用		15,548,393	17,115,114	16,826,762	1,278,369	△ 288,352
1. 職員給与費		2,191,736	2,001,169	2,111,953	△ 79,783	110,784
2. 浄化費		816,538	816,524	730,153	△ 86,385	△ 86,371
3. 動力費		2,272,262	2,801,504	2,721,953	449,691	△ 79,551
4. 施設管理費		1,096,436	1,084,175	1,003,017	△ 93,419	△ 81,158
5. 受託工事費		0	0	0	0	0
6. 物件費		102,791	96,953	84,199	△ 18,592	△ 12,754
7. 諸費		711,413	743,042	671,214	△ 40,199	△ 71,828
8. 水源管理負担金		441,987	372,563	332,648	△ 109,339	△ 39,915
9. 減価償却費		7,834,673	9,133,327	9,102,705	1,268,032	△ 30,622
10. 資産減耗費		80,557	65,857	68,920	△ 11,637	3,063
2. 営業外費用		1,973,923	1,860,979	1,843,250	△ 130,673	△ 17,729
1. 企業債利息		1,720,135	1,617,362	1,600,302	△ 119,833	△ 17,060
2. 割賦負担金利息		249,393	236,947	236,945	△ 12,448	△ 2
3. 借入金利息		1	1	0	△ 1	△ 1
4. 雑支出		4,394	6,669	6,003	1,609	△ 666
3. 特別損失		3	3,045,296	2,895,135	2,895,132	△ 150,161
4. 予備費		5,000	5,000	0	△ 5,000	△ 5,000
当年度純利益又は 当年度純損失(△)		594,944	△ 1,303,902	△ 933,354	△ 1,528,298	370,548
前年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)		△ 20,361,846	△ 19,228,068	△ 19,228,068	1,133,778	0
その他未処分 利益剰余金変動額		0	2,206,042	2,206,042	2,206,042	0
当年度純利益 又は純損失(△)		594,944	△ 1,303,902	△ 933,354	△ 1,528,298	370,548
当年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)		△ 19,766,902	△ 18,325,928	△ 17,955,380	1,811,522	370,548

資本的收入及び支出（税込み）

（単位 千円）

収支区分	年度	H26			
	財政計画 ①	予算額 (前年度繰越+補 正・流用含む) ②	決算額 ③	決算-財計 ③-①	決算-予算 ③-②
1. 資本的收入	3,274,439	4,574,040	4,099,361	824,922	△ 474,679
1. 企業債	1,551,000	2,094,000	1,727,000	176,000	△ 367,000
2. 出資金	1,641,085	1,641,085	1,641,085	0	0
3. 国庫補助金	1	292,364	150,721	150,720	△ 141,643
4. 固定資産売却代金	1	1	804	803	803
5. 工事負担金	82,351	73,206	106,657	24,306	33,451
6. 基金収入	0	0	0	0	0
7. その他資本収入	1	473,384	473,094	473,093	△ 290
1. 資本的支出	11,923,250	13,969,958	11,535,465	△ 387,785	△ 2,434,493
1. 水道改良費(起債・負担金)	1,793,413	2,545,201	2,003,124	209,711	△ 542,077
水道改良費(自己資金)	2,861,657	4,235,951	2,346,691	△ 514,966	△ 1,889,260
2. 水利負担金	1,105,740	911,988	911,987	△ 193,753	△ 1
3. 投資	0	1,400	1,110	1,110	△ 290
4. 企業債償還金	6,162,439	6,268,382	6,268,373	105,934	△ 9
5. 国庫補助金返還金	1	7,036	4,180	4,179	△ 2,856
資本的収支不足額(△)	△ 8,648,811	△ 9,395,918	△ 7,436,104	1,212,707	1,959,814
補てん財源	8,648,811	9,395,918	7,436,104	△ 1,212,707	△ 1,959,814
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	252,169	318,166	270,762	18,593	△ 47,404
当年度純利益	594,944	△ 1,303,902	△ 933,354	△ 1,528,298	370,548
損益勘定留保資金等	7,801,698	10,381,654	8,098,696	296,998	△ 2,282,958
前年度末資金残額	2,976,345	7,513,072	7,513,072	4,536,727	0
当年度資金過不足(△)額	113,535	△ 872,304	1,451,009	1,337,474	2,323,313
当年度末資金残額	3,089,880	6,640,768	8,964,081	5,874,201	2,323,313

V. 対前年度決算比較

収益的収入及び支出（税抜き）

（単位 千円）

年度 収支区分	H26		
	前年度決算額 ①	決算額 ②	当年度－前年度 ②－①
1. 水道事業収益	18,162,215	20,631,793	2,469,578
1. 営業収益	17,887,927	17,866,797	△ 21,130
1. 分賦金	17,857,165	17,857,165	0
2. 受託工事収益	21,743	0	△ 21,743
3. その他の営業収益	9,019	9,632	613
2. 営業外収益	274,288	1,519,350	1,245,062
1. 受取利息	4,894	7,206	2,312
2. 補助金	120,862	97,382	△ 23,480
3. 長期前受金戻入	0	1,266,935	1,266,935
4. 雑収益	148,532	147,827	△ 705
3. 特別利益	0	1,245,646	1,245,646
1. 水道事業費用	17,867,731	21,565,147	3,697,416
1. 営業費用	15,589,468	16,826,762	1,237,294
1. 職員給与費	2,164,227	2,111,953	△ 52,274
2. 浄化費	681,620	730,153	48,533
3. 動力費	2,563,611	2,721,953	158,342
4. 施設管理費	1,055,835	1,003,017	△ 52,818
5. 受託工事費	21,743	0	△ 21,743
6. 物件費	84,864	84,199	△ 665
7. 諸費	666,625	671,214	4,589
8. 水源管理負担金	320,766	332,648	11,882
9. 減価償却費	7,986,523	9,102,705	1,116,182
10. 資産減耗費	43,654	68,920	25,266
2. 営業外費用	2,031,614	1,843,250	△ 188,364
1. 企業債利息	1,726,849	1,600,302	△ 126,547
2. 割賦負担金利息	290,486	236,945	△ 53,541
3. 借入金利息	0	0	0
4. 雑支出	14,279	6,003	△ 8,276
3. 特別損失	246,649	2,895,135	2,648,486
4. 予備費	0	0	0
当年度純利益又は 当年度純損失(△)	294,484	△ 933,354	△ 1,227,838
前年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)	△ 19,522,552	△ 19,228,068	294,484
その他未処分 利益剰余金変動額	0	2,206,042	2,206,042
当年度純利益 又は純損失(△)	294,484	△ 933,354	△ 1,227,838
当年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)	△ 19,228,068	△ 17,955,380	1,272,688

資本的収入及び支出（税込み）

（単位 千円）

収支区分	年度	H26		
		前年度決算額	決算額	当年度－前年度
		①	②	②－①
1. 資本的収入		2,736,380	4,099,361	1,362,981
1. 企業債		193,000	1,727,000	1,534,000
2. 出資金		1,626,540	1,641,085	14,545
3. 国庫補助金		288,933	150,721	△ 138,212
4. 固定資産売却代金		516,430	804	△ 515,626
5. 工事負担金		107,345	106,657	△ 688
6. 基金収入		1,192	0	△ 1,192
7. その他資本収入		2,940	473,094	470,154
1. 資本的支出		9,524,115	11,535,465	2,011,350
1. 水道改良費(起債・負担金)		718,447	2,003,124	1,284,677
水道改良費(自己資金)		1,330,631	2,346,691	1,016,060
2. 水利負担金		1,247,990	911,987	△ 336,003
3. 投資		1,192	1,110	△ 82
4. 企業債償還金		6,223,145	6,268,373	45,228
5. 国庫補助金返還金		2,710	4,180	1,470
資本的収支不足額(△)		△ 6,787,735	△ 7,436,104	△ 648,369
補てん財源		6,787,735	7,436,104	648,369
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額		123,363	270,762	147,399
当年度純利益		294,484	△ 933,354	△ 1,227,838
損益勘定留保資金等		6,369,888	8,098,696	1,728,808

前年度末資金残額	※	5,606,917	7,513,072	1,906,155
当年度資金過不足(△)額		1,906,155	1,451,009	△ 455,146
当年度末資金残額		7,513,072	8,964,081	1,451,009

※引当金1,176,787千円を含む。

VI. <参考> 会計制度見直しに伴う影響

1 損益（単年度損益、年度末累積欠損金）

(1) 単年度損益は、下記の収益及び費用の計上により、△1,781,225千円の損失が発生した。

(単位 千円)

	平成26年度		影響額 [②-①]
	制度見直し前①	制度見直し後②	
収益的収入	0	2,346,479	2,346,479
長期前受金戻入	0	1,266,935	1,266,935
特別利益 (引当金戻入益)	0	1,079,544	1,079,544
収益的支出	10,051,009	14,178,713	4,127,704
職員給与費	2,113,699	2,111,953	△1,746
減価償却費等	7,937,310	9,171,625	1,234,315
特別損失 (退職給付引当金繰入額)	0	2,753,561	2,753,561
特別損失 (手当等)	0	141,574	141,574
計	△10,051,009	△11,832,234	△1,781,225

(2) 年度末累積欠損金は、新制度移行に伴う「その他未処分利益剰余金変動額(2,206,042千円)」の振替により、424,817千円好転した。

(単位 千円)

	平成26年度		比較 [②-①]
	制度見直し前①	制度見直し後②	
単年度損益	847,871	△933,354	△1,781,225
その他未処分利益 剰余金変動額	0	2,206,042	2,206,042
年度末累積欠損金	△18,380,197	△17,955,380	424,817

2 資金（単年度資金過不足額、年度末資金残額）

単年度資金過不足、年度末資金残額ともに、賞与及び法定福利費引当金等を計上することにより、△157,992千円の減額となった。

(単位 千円)

	平成26年度		比較 [②-①]
	制度見直し前①	制度見直し後②	
前年度末資金残額	7,513,072	7,513,072	0
当年度資金過不足額	1,609,001	1,451,009	△157,992
当年度末資金残額	9,122,073	8,964,081	△157,992